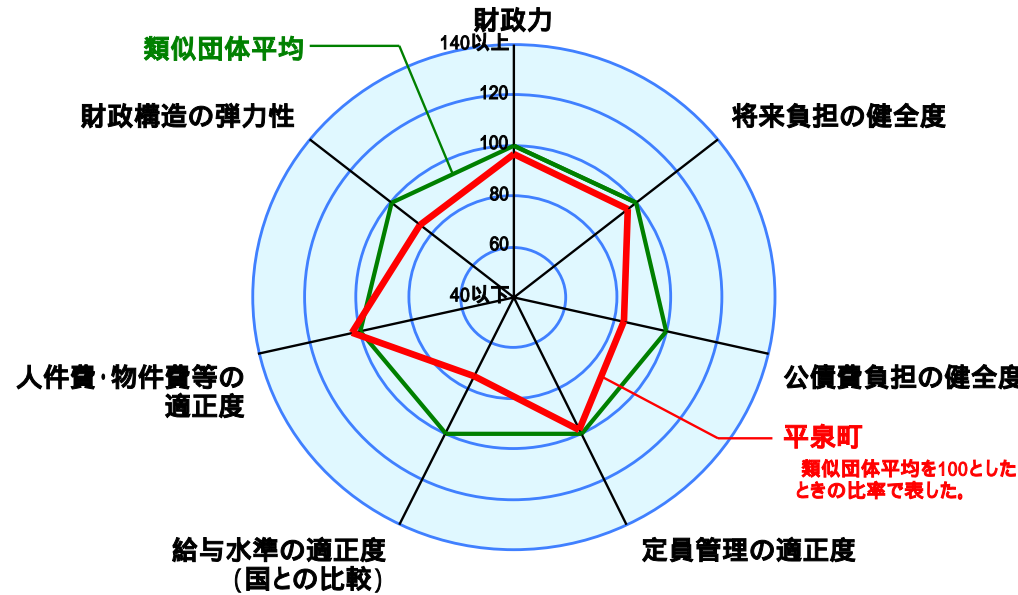
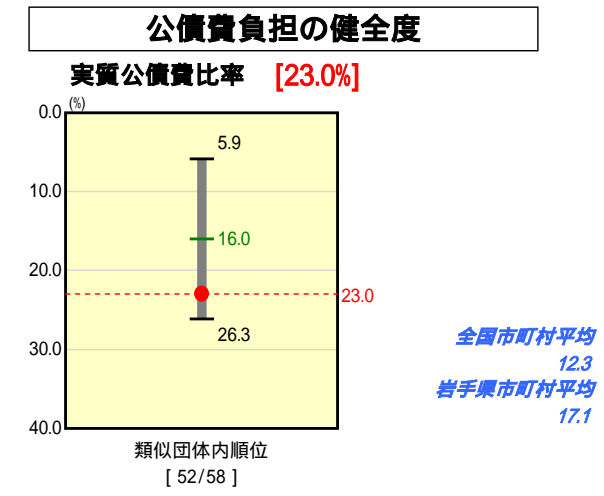
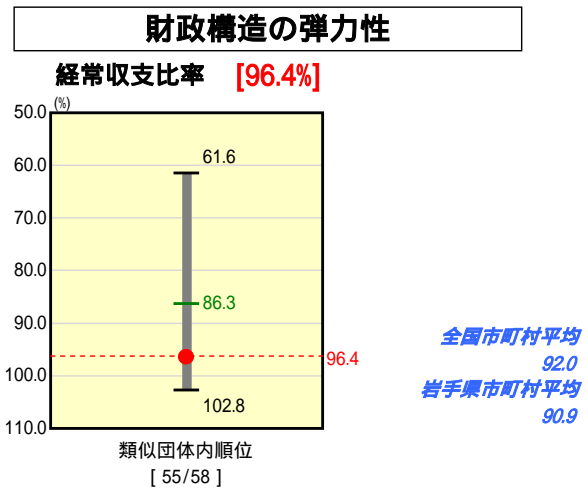
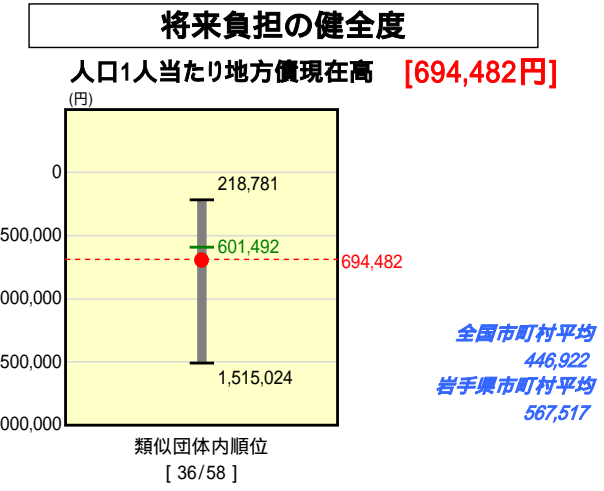
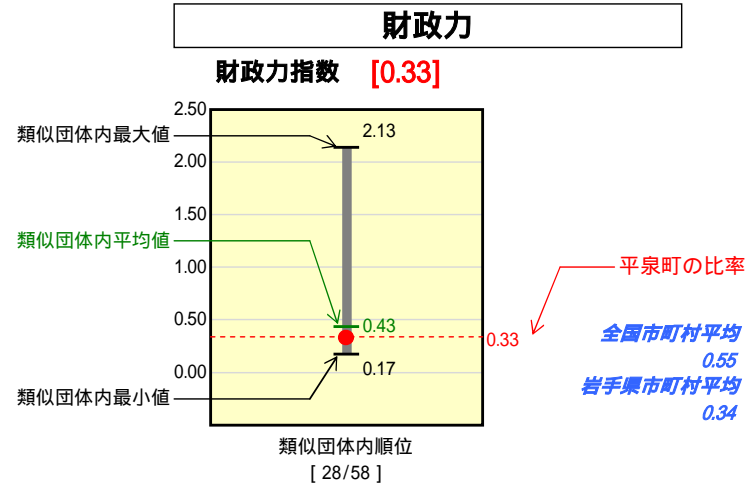


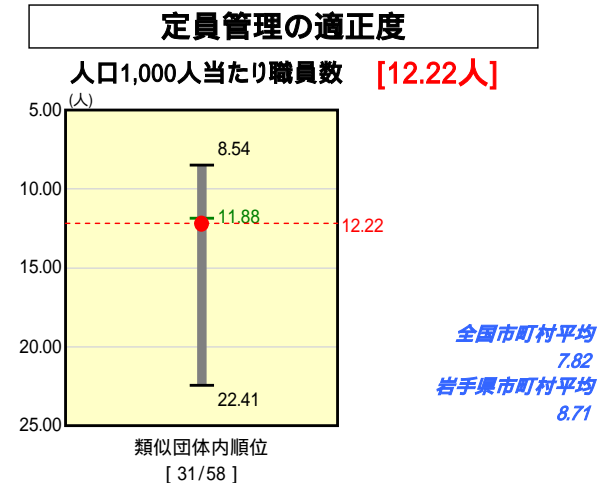
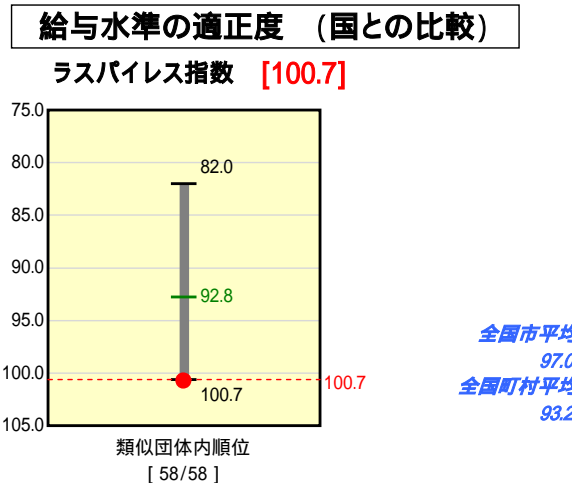
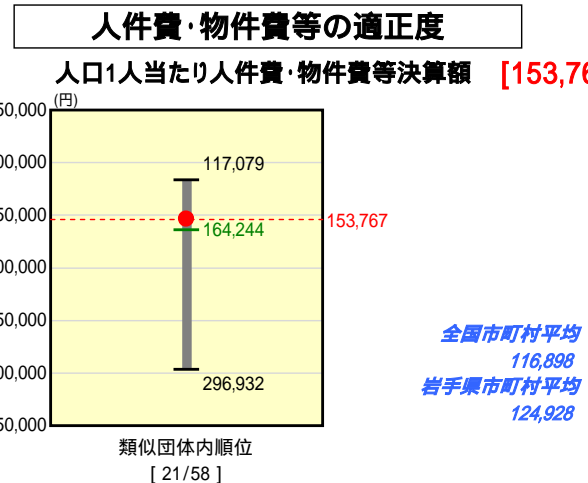
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 岩手県 平泉町

人口	8,758人	(H20.3.31現在)
面積	63.39	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,991,566	千円
歳出総額	3,938,982	千円
実質収支	52,584	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- ・財政力指数: 類似団体平均より0.10ポイント下回っている。独自給与削減(平成20年度:管理職5%、一般職2%)による人件費の削減や投資的事業については緊急に必要な事業を峻別する等、歳出の徹底的な見直しを図るとともに、税収の徴収率向上(平成22年度普通税96.0%)に努めるなど財政健全化に取り組む。
- ・経常収支比率: 公債費の増加により類似団体平均より10.1%上回っている。今後も公債費は高水準にあるため、物件費や維持管理費等の抑制(5.0%)、独自給与削減(平成20年度:管理職5%、一般職2%)により経常収支比率の低下に努める。
- ・人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均より10,477円下回っている。これは物件費や維持管理費等を枠配分方式(前年度対比 5.0%)により抑制に努めてきたためである。今後は施設の運営について指定管理者制度の導入や民間委託を進め人件費や維持管理費等の経費削減に一層努める。
- ・ラスバイレス指数: 給与制度改革の導入が1年遅れたため類似団体平均を7.9%上回っている。全国的にも高い水準にあるため、独自給与削減(平成20年度:管理職5%、一般職2%)により職員給与の適正化に努める。
- ・人口1人当たり地方債残高: 平成11年度から平成14年度にかけて実施した公営住宅建設事業(総事業費17.1億円うち起債10億円)や、平成13年度から平成17年度にかけて実施した小学校改築事業(総事業費15.7億円うち起債9.2億円)等により類似団体平均を92,990円上回っている。今後は公債費負担適正化計画に基づき普通建設事業の厳選及びコスト削減による新規地方債発行の抑制(普通会計単年度発行額2.3億円以内)を図り、地方債残高の縮減に努める。
- ・実質公債費比率: 上記の大型投資事業や平成7年度より供用開始し現も整備を進めている下水道事業(平成17年度末総事業費50.7億円うち起債36.6億円「資本費平準化債含む」)の影響により類似団体平均を7.0%上回っている。平成21年度に23.1%とピークを迎える予定であるが公債費負担適正化計画に基づき補償金免除繰上償還や高金利の起債の借換等を行うことにより平成24年度までに実質公債費比率18%未満になるよう努める。
- ・人口1,000人当り職員数: 現在の定員は類似団体平均並みである。職員については、引き続き退職者不補充とし平成22年度までに5人の削減を図り、住民サービスの一定水準を維持しながら人口規模に見合った職員数の適正化に努める。